



桂川っ子

VOL.81

「立志式」によせて：

桂川中学校

校長 安永保之

2月7日の土曜授業で、桂川中学校二年生が、第4回立志式を住民センターで行いました。教育委員会、町議会文教厚生委員会、保護者の皆さまの見守る中、一人ひとりが飾りのない自分の言葉で、これからの決意・覚悟を発表しました。

内容は、「将来の夢」「これからの自分」「三年生に向けての目標」「自立すること」など。これは、道徳・特別活動・キャリア教育のなかでの、体験学習・調べ学習、聞き取り学習などをもとに、これからの自分の進路・生き方を考えたことをまとめたものです。発表までには、何回も原稿を修正し、繰り返し練習を重ねていました。

発表後に生徒から感想を聞きましたら、「やりとげた！」です。校長として、もうすぐ中学三年生になる二年生の成長を実感しました。生徒の「志と自尊感情」は高まっています。課題はまだまだあるでしょうが、今の成長がある

「桂川っ子」の文字は、桂川中学校美術部員がデザインしたものです。



のも、家庭・地域・教育委員会・町議会など皆さまのご声援のたまものだと受け止めています。
これからも学校は、精一杯取組んでまいりますので、よろしくお願い致します。



▶第4回立志式の様子。

学校のリーダーを育てる

桂川東小学校

校長 西園浩一

先日、朝の全校集会で、六年生の委員長さんたちが、一年間のお礼とともに、自分自身が成長したところと中学生になっての決意を述べました。

この時期になると、六年生がとても頼もしく見えます。また、卒業に向けての取り組みを通して、新六年生を新しいリーダーとして鍛え、成長を促す期間でもあります。

本校では、児童会活動を通し、縦割り活動を取り入れることによって、高学年の「リーダー性」、「思いやり」を育ててきました。特に、六年生一人ひとりが主体となって考え、活躍できる場を縦割り活動等の異年齢交流の中で設定し、子どもたちのコミュニケーション能力を育成できるようにしました。

学校の機関車は六年生です。学校全体を向上させるためのリーダーであることが、常に求められます。

①運動会

応援団長・係活動・行進の鼓舞など自分たちの競技の練習もこなしながら、中心となって運動会を成功させました。限られた期間で作り上げるには、体力も気力も必要です。リーダーとして



ぐんと成長し、お手本になりました。

②桂東文化祭

児童会主催の文化祭です。「王塚太鼓」の稽古に励みながら、会全体の計画・運営にあたりました。

③縦割り活動

全校に18ある縦割りグループのリーダーとして、下級生をまとめ、毎日の掃除や運動会の競技に取り組みました。

このような活動を通して、低学年の子どもたちに頼られたり、「ありがとう」という言葉をかけられたりする経験を重ねて、リーダーとしての実感と自覚をもてるようになってきています。

次年度も継続して取り組むことができればと考えています。